

(一社)甲府青年会議所2023年度
年間事業計画書(案)

みんなの絆結成室	メルシーライフ推進委員会	委員長 杉山 佳可
----------	--------------	-----------

1. 基本理念

会員が自身を取り巻く環境に感謝し、周囲との良好な関係を築くことで、より良い好循環を生みだす。

2. 事業名・事業目的/内容・予算・開催月

事業名	事業目的 / 内容	予算	開催月
1. メルシーライフ推進事業	周囲とコミュニケーションにより、活動への相互理解を深めることで、意欲的に活動できる基盤をつくる。 ・ JC NEWS	80,000	通年
2. 8月例会 (ワクワク大作戦)	家族や仕事仲間にJC活動への理解と感謝を伝えるとともにワクワクした気持ちを共有し、相互に価値を感じてもらう例会を開催する。	50,000	8月
予算合計		130,000	

参考資料一覧

	資料名称
01	基本理念作成シート

審査、協議、及び審議指摘事項

● 第01回財総予定者会議 ●開催日 2022年09月15日(木曜日) ●審査

	指摘・質問	対応
01	予算の¥0を削除してください。	指摘箇所を確認し削除しました。
02	基本理念の最後に「。」をつけてください。	確認し追記致しました。
03	10月例会の副題を現状の案で良いため記載してください。	10月例会の副題を【バトンを繋げ】と追記致しました。
04	審査、協議、及び審議指摘事項の本日分の名前と開催日を変更し、審査としてください。	スケジュールを確認し会議名及び開催日を追記いたしました。

● 第01回三役予定者会議 ●開催日 2022年9月22日(木曜日) ●協議

	指摘・質問	対応
01	メルシーライフ事業からメルシーライフ推進事業に修正してください。	メルシーライフ事業からメルシーライフ推進事業に修正いたしました。
02	事業の1番と2番の間が2行空いてしまっているので修正してください。	事業の1番と2番の間を1行に修正いたしました。
03	10月例会の下副題の頭出しが2の下になっていますが、10月に合わせて下に()がくるように修正してください。	副題を10月に合わせて修正いたしました。
04	メルシーライフ推進事業の事業目的が長く感じるためスマートにしてください。	【意見交換や情報共有の機会を作ると共に】の部分 を【【会員同士の絆を深め】に変更致しました。 【「仕事」と「家庭」と「JC」の好循環を生み出せる環境】を【ワークライフバランス】に変更致しました。 会員のみならず、関わって下さる方々にワクワクと感謝を波及させを削除致しました。 育むを促進するに変更いたしました。
05	豊かな未来という言葉の意味がわからないので再考してください。	「豊かな」を削除いたしました。
06	豊かな未来に向けてという事業の内容が基本理念を超えてしまっている感じがするのでバランスを再考してください。	「豊かな」を削除いたしました。
07	希望を繋げる例会は誰から誰へ、どこへどうなってほしいということは明確にしておいてください。	メルシーライフ推進委員会から甲府青年会議所メンバーへ。甲府青年会議所メンバーから自分を取り巻く人々へ希望を繋げると考えております。

● 第01回臨時三役予定者会議 ●開催日 2022年9月26日(月曜日) ●協議

	指摘・質問	対応
--	-------	----

01	未来に向けて希望を繋げる例会なのか疑問なので、再考してください。	再考した結果、可能性を感じて想いを波及させるに変更いたしました。
02	基本理念の最後の「会員を増やす」というところが盛り下がる感じがしました。	【会員を増やす】を【会員を育成する】に変更いたしました。
03	前向きな気持ちになって可能性を感じるとどんどんワクワクしてくる、そのワクワクの気持ちがワクワクと今の環境への感謝というのが生まれていく、では今度はその気持ちを波及させていきたいと思いますという3つくらいのステップだとわかりやすいかと思いました。整えて土台を作るところではなく、その後の波及させるところを行って頂きたいです。	もっとわかりやすくするために、伝え方の工夫をするとともに、言葉のブラッシュアップをしていきます。 土台を作り、増幅させ、波及させる。の3ステップで取り組んでまいります。
04	バトンを繋げの副題が順番をイメージしてしまうので再考してください。	【バトンを繋げ】を【新たなライフステージへ】に変更いたしました。
05	ワークライフバランスという言葉は使わずに年間を書いていただけると嬉しいです。	【ワークライフバランス】を【自分を取り巻く環境】に変更いたしました。

● 第02回理事予定者会議

● 開催日 2022年9月30日(金曜日)

● 協議

	指摘・質問	対応
01	事業目的が理念のような概念的な内容になっているので分かりやすくした方が良くないでしょうか。コミュニケーションをとる機会を増やすようなものが目的になるかと思います。	「自己肯定感を高め」を「意見交換の場を作り」に変更いたしました。
02	基本理念の部分で「ワクワクとメルシーを伝え」のメルシーを感謝に変えてはいかがでしょうか。	「メルシー」を「感謝」に変更しました。
03	基本理念に関して会員の皆様がどうなったら基本理念を達成できるでしょうか。前向きに活動する会員を増やすというところになると思いますが、何で判断するのでしょうか。出席率で判断するとしたら10月例会より早い段階で意欲向上をしないとないと思います。	まずはじめにアンケートを取ることを考えています。幸福度調査をすることにより、達成判断が出来ると考えています。
04	メルシーライフ事業でJC家庭仕事でどれを整えると前向きな心を促進できるか再考してください。	どの世界も諦めないことが大切だと考えています。その為、どれか一つを選ぶことは出来ませんが、メルシーライフ推進委員会なのでここではJCとさせていただきます。
05	理事長所信からは両立を図るのがゴールなのではないか、ごめんなさいではなくありがとうを伝えるのが大事だと取りました。そのように考えると会員に寄り添って持ち上げるより、他の理由を見つけていただけると両立できるのではないのでしょうか。考えの参考にしてください。	参考にさせていただきます。
06	計画書はチラシではないのでキャッチーな言葉は必要ありません。見る人が疑問に思ってしまう興味を持つようなことは計画書においてしなくて良いです。勢いだけで押し切らないで、誰かに伝えるものとしてわかりやすく書いて下さい。	「メルシー」をキャッチーではなく、大切に伝えたい「感謝」という言葉へ変更いたしました。

● 第02回財総予定者会議

●開催日 2022年10月13日(木曜日)

●審査

	指摘・質問	対応
01	年間事業計画書と予算概求書とで金額が違うので予算概求書を変更してください。	適応箇所を修正いたしました。
02	理事会の指摘が全角英数字になっているため半角英数字に修正をお願いします。	英数字の部分全てを半角に修正いたしました。
03	基本理念の「所属していることを誇れる気持ちを育む」という部分が現在誇れていないかのようにも受け取れてしまうので再考してください。	「育む」だと全くない様子にも受け取れる為、「向上」へ修正いたしました。
04	10月例会の「あらゆる可能性」という言葉は個々の受け取り方が多く、広がりすぎてしまうとわかりにくい方も多いため表裏的に避けた方が良いのではないかと思います。	「あらゆる」だと全ての、という意味合いのもたえられる為、「多種多様な」に修正しました。
05	指摘対応の対応の部分が「再考した結果このように変更しました」ということが書いてあるのですが、どのように考え変更したのかもう少し深く対応の部分を書いてもいいと思いました。	わかりやすくするためにも、自分の考えを残すためにも、今後は意図を記載するようにいたします。
06	メルシーライフ推進事業のところはその先の目的がわかりにくいので、見た人がわかるようにしておいてください。	事業を行う際に全ての事柄とマッチしていないといけないのかと思い、明確な言葉を避けておりましたが、見た時に何をやるのかのわかりやすいよう変更いたしました。
07	基本理念の「所属していることを誇れる気持ちを育む」のところ、育んだ先に会員にどのようなになってほしいのか考えて基本理念の文章を作成してください。	理念全体を一旦ゼロベースにしました。最終的にはJC活動を意欲的にやり、それを波及する人を増やしたいと考え、基本理念を「会員がそれぞれの環境に感謝し、より良い好循環を生み出していくことで活動意欲を向上させる。」に変更いたしました。
08	対応に書いてはありますが、理事会で意見を頂いた方への修正の伝達できていないため、対応が違ったものになってしまっているところも見受けられます。意見を頂いた方へどういった意図があったのかなどのヒアリングをお願いします。	意見をいただいた際には、その後お話をうかがい、相違がないか事前確認をするか、考えのすり合わせをするようにいたします。

● 第02回三役予定者会議

●開催日 2022年10月17日(月曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
01	メルシーライフ推進事業の事業目的の中の「為」という漢字ををひらがなに直してください。	該当箇所を修正いたしました。
02	向上心を磨くという言葉の使い方は正しいでしょうか。高めるなどが一般的だと思います。皆さんがわかりやすい言葉を使ってください。	『高める』へ変更いたしました。
03	10月例会の会場費用をもう少し抑えると講師費用にあてられると思います。	2009年に同じ講師の方をお呼びした会場で検討したのですが、他の会場も含め再考します。

● 第02回臨時三役予定者会議

●開催日 2022年10月23日(日曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
--	-------	----

01	基本理念の「それぞれの環境」のそれぞれという部分が何を指しているかわかりにくいので修正してください。	『それぞれ』を『自身を取り巻く』に変更しました。
02	メルシーライフ推進事業の中で「意欲的に活動できるようにするため」と「能動的に活動する会員」とありますがこちらの意欲的と能動的というのはどういった違いがあるのでしょうか。	『意欲的』とは物事を積極的にやろうとする気持ちがあふれていること。『能動的』とは自ら他に積極的に働きかけることです。
03	例会の開催月を変更して下さい。	例会の開催月を、10月から8月に変更いたしました。

● 第03回臨時三役予定者会議

●開催日 2022年10月26日(水曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
01	開催月が変わったことで効果や目的達成に何か違いはありますでしょうか。	例会の開催月を10月から8月に変更することで、8月の夏休みや長期休暇などで家族、会社の方を呼びやすくなり、さらに繋がりを深めることができると考えたからです。

● 第03回理事予定者会議

●開催日 2022年10月27日(木曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
01	メルシーライフ推進とあるからには主体的な基本理念にしていただければと思います。この委員会がミッションとして掲げることを基本理念にしてほしいと感じました。	当委員会のミッションは仕事と家庭とJCの好循環を生み出すための潤滑材のような役割で、これを行うことにより支え合っているような持続可能な組織の構築へと繋がると考えております。
02	活動意欲向上は好循環を生み出すための一つの手法で、よりよい好循環というのが最終目的になるのではないのでしょうか。こちらの表現が逆になっているため不自然に感じました。	改めて理事長所信を読み解き、活動意欲を向上させるのは当委員会の役割ではないと考え、『より良い好循環を生み出していくことで活動意欲を向上させる。』を『周囲との良好な関係を築くことでより良い好循環を生み出していく』へ変更いたしました。
03	8月に活動への気運を高めても残りが4ヶ月しかありません。会員がメルシーライフ推進事業を達成した気持ちをもとに動けるのは残りの期間となってしまう8ヶ月もったいないので、メルシーライフ推進事業と8月例会の立ち位置を考えて再考してください。	再考した結果、仕事と家庭に対してメリットのある設えを考えております。この例会を行うことにより、仕事に対しては利益に繋がる可能性があり、家庭に対してはお得や楽しむことが出来、良好な関係を築くことが出来ると考えております。
04	1番項の事業目的にある「感謝を主とする円滑なコミュニケーション」という言葉がわかりにくいので再考してください。	『感謝を主とする』を削除いたしました。
05	ご家族や職場の方をお呼びする場で一緒にわくわくすることが正解なのか、今年度親睦系の引継ぎも含め再考してください。	ご家族や職場の方々をお呼びする当日もワクワク出来るような設えを考えておりますが、それ以前よりワクワクしていただけるような方法を考えております。個別に入る際にはお知恵を貸していただけますと幸いです。
06	一蓮托生とワクワクがどう繋がるのか、杉山委員長が考える一蓮托生を教えてください。	一蓮托生の意味は結果はどうであれ最後まで行動を共にすること。と考えております。私自身が会員と一緒に何かを作り上げたり成し遂げたりすることによりワクワクする気持ちになる為この副題を付けました。ですが、少しニュアンスが違っていると感じた為、一蓮托生の表記につきましては変更いたします。
07	メルシーライフとは何でしょうか。	自身とそれを取り巻く環境が感謝の心で繋がっていて、好ましい関係が繰り返されることと考えます。

08	活動意欲を向上するという言葉が最後にきているのはふさわしくないかと思います。仕事や家庭やJC全部がうまく回っていてそれぞれが感謝の心で繋がっている状態のことをメルシーライフと表現しているとすれば、そちらの完成こそが目的だと思うのでそのような構造にした方がいいのではないのでしょうか。	理事長所信を読み解き、活動意欲を向上させるのは当委員会の役割ではないと考え、再考いたしました。
----	---	---

● 第02回合同三役会議

●開催日 2022年11月05日(土曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
01	メルシーライフを一言で説明していただくとうのようになりますでしょうか。	自身とそれを取り巻く環境が感謝の心で繋がっていて、好ましい関係が繰り返されることと考えます。
02	この委員会は何が遂行できたら成功と言えるのでしょうか。	支え合っている持続可能な組織への一助として、好循環を生みだしていければ達成と考えます。
03	メルシーライフ推進委員会がJC NWESを受け持つ意味はなんなのでしょうか。	会員以外の方とのコミュニケーションが図れるからと考えます。
04	8月例会は会員や周囲がどういう状態になるとワクワクにつながるのでしょうか。	事業に参加することに期待が持てる、参加した後は参加して良かった。また参加したい。と思ってもらえる状態を指します。
05	ワクワクははかりにくいと思いますが、どの様にはかかっていこうと考えていますか。	アンケートの実施でワクワクしたかを調査したいと考えます。
06	年間事業計画書を見て、何をやるのかかわからない委員会に見えます。会員に伝わる表現をお願いいたします。	委員会に持ち帰り再考いたします。
07	親睦の委員会ですか？	会員親睦を主とした委員会ではないと考えます。

● 第1回グループ会議

●開催日 2022年11月06日(日曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
01	前回理事会の指摘対応にあるメルシーライフとは何かというところの対応が基本理念からはみ出してしまっているので、もう少し簡単に説明できるようにした上で感謝と応援を入れて基本理念を整理してください。	応援という表記が手法となってしまうのではないかと思います。基本理念への表記は行わず内容への記載に留めておりましたが、理念への記載が可能であれば再考いたします。
02	何を目的とした委員会かわかりません。	仕事と家庭とJCの好循環を生み出す委員会です。
03	より良い好循環が何かわからないので理念か事業目的に具体的に載せてください。	メルシーライフ推進事業の事業目的を「周囲とコミュニケーションにより、活動への相互理解を深めることで、意欲的に活動できる基盤をつくる事業を行う」としました。
04	「ワクワク」は人によって捉え方が違うので共通の概念的な尺度が測れないため再考してください。	「ワクワク」とは嬉しい・楽しいことが起きると期待する言葉です。私はぜひJC活動において全ての会員にそのような気持ちになってもらいたいと考えております。そのために、個別計画書上で具体性を持たせるような事業構築を行っていきたいと思います。
05	手広くやり過ぎているため委員長のやりたいことを全面的に押し出しても良いと思います。	当初から行いたかったパネリストをお呼びしての意見交換、振り返り報告会の追加を行いました。この事業を行うことにより、会員が何を悩み望んでいる

		のかなどの現状を知ることが出来ると考えております。
06	事業を家庭と仕事とJCの三本立てにしたいかがででしょうか。一考してください。	家族向けJC NEWSを仕事、家庭、JCとそれぞれテーマを決めて発行することといたしました。

● 2022年度第12回理事会

●開催日 2022年11月08日(火曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
01	基本理念の周囲とは何を指していますか。	家族や個人生活、職場などの会員を取り巻く環境と考えます。
02	組織や会員にとってこの委員会がやるべきことはなんですか。ゴールが好循環に至った経緯も踏まえてご説明をお願いいたします。	仕事と家庭とJCの3つの両立をはかっていくために、経験されてきた方々からお話をいただいたり、両立をするために組織に期待すること、自身の考えや思いを伝えられる意見交換や情報共有の機械や、組織として仕事と家庭とJCを結びつけ相互に理解が得られる取り組みを行いながら、多種多様な会員の仕事と家庭とJCの両立を応援することが当委員会のやるべきことと考えます。好循環がなければ支えあっていける持続可能な組織の構築は不可能と考えます。
03	メルシーライフ推進事業が何をおこなうのかわかりません。記載方法も踏まえて再考をお願いします。	メルシーライフ推進事業の事業目的を「周囲とコミュニケーションにより、活動への相互理解を深めることで、意欲的に活動できる基盤をつくる事業を行う」としました。
04	8月例会において、ワクワクといった抽象的な言葉が見受けられます。どのように相互に価値を感じてもらうのでしょうか。	仕事面では企業ブースの出店やチラシなどを掲示できるPRブースを作り、仕事に繋げてもらうことで価値を感じてもらい、家庭面ではフリマを行うなどしてお得感を感じてもらい、アミューズメントブースを設けて楽しんでもらうことで価値を感じてもらう設えを考えております。
05	合同三役会議の指摘・質問が話し言葉のようになっております。修正をお願いいたします。	修正致しました。
06	JC NEWSにおいて相互理解を取るの難しいと思いますが、何か考えはございますでしょうか。	見ていて楽しめるような、読み進めたいような記載方法にし、JC NEWSをきっかけにより理解を深めていければと考えます。

● 第03回財総予定者会議

●開催日 2022年11月11日(金曜日)

●審査

	指摘・質問	対応
01	体調不良のため取り下げ	
02		

● 第01回臨時財総予定者会議

●開催日 2022年11月15日(火曜日)

●審査

	指摘・質問	対応
01	前回までの分で指摘対応できていない部分があるので、対応してください。	指摘対応できていなかった部分を、対応いたしました。
02		